

◆ 今週のコメント (感染地域、感染経路については推定を含みます。)

- ・ **レジオネラ症(肺炎型)**の報告が1例(50歳代男性)あり、症状は発熱、咳嗽、呼吸困難、肺炎です。感染地域は国内で、感染経路は不明です。本年の累積報告数は24例となりました。
病因となるレジオネラ属菌は土壌等の自然界に常在し、菌に汚染された粉塵等を吸い込むことで感染します。さらに、レジオネラ属菌は、冷却塔、給湯系などの内部で形成された生物膜(いわゆる「ぬめり」)内に生息するアメーバ内で増殖するため、これらの人工環境から発生するエアロゾルを吸い込むことでも感染します。換水や洗浄により環境を清浄に保つことでレジオネラ属菌の繁殖は防げるため、取扱説明書に従って維持管理に努めましょう。なお、ヒトからヒトへの感染はありません。
- ・ **カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症**の報告が2例(70歳代及び90歳代男性)ありました。本年の累積報告数は35例となりました。
- ・ **インフルエンザ**の定点当たり報告数は0.57(39例)となり、流行入りの目安となる「1」はを超えていません。現状では京都市で流行の兆しは見られませんが、体調管理に注意し、手洗いやうがいの励行、咳エチケットなど予防を徹底し、流行に備えましょう。インフルエンザの発生状況や予防対策については、下記URLを御参照ください。
○インフルエンザの発生状況(衛生環境研究所ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000102856.html>
○京都市こどもの感染症(令和元年11月号)「インフルエンザウ(イ)ルス流行に備えよ！」(衛生環境研究所ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000146238.html>
○インフルエンザの発生状況について(健康安全課ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000051303.html>

◆ 今週のトピックス: <感染性胃腸炎>

京都市における感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2.86(123例)となり前週の2.28(98例)からやや増加しました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類: 結核 10例(肺結核 3例, その他結核 3例, 潜在性結核感染者 4例)うち喀痰塗抹陽性 2例
【1月以降の累積報告数 271例(肺結核 116例, その他結核65例, 潜在性結核感染者 90例)うち喀痰塗抹陽性 57例】
- ・ 四類: レジオネラ症 1例【1月以降の累積報告数 24例】
- ・ 五類: カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 2例【1月以降の累積報告数 35例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.57	39
小児科	① 感染性胃腸炎	2.86	123
(降順5位まで)	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.19	51
	③ 手足口病	0.77	33
	④ RSウイルス感染症	0.70	30
	⑤ 伝染性紅斑	0.60	26
眼科	流行性角結膜炎	0.60	6

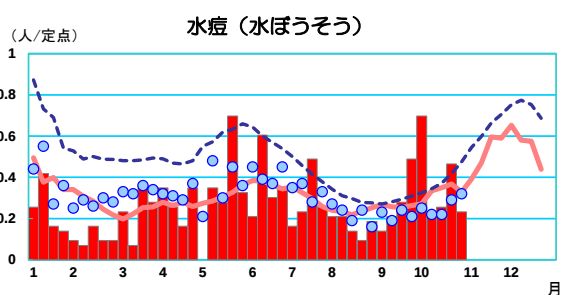
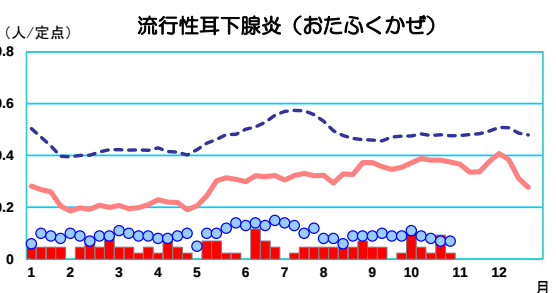
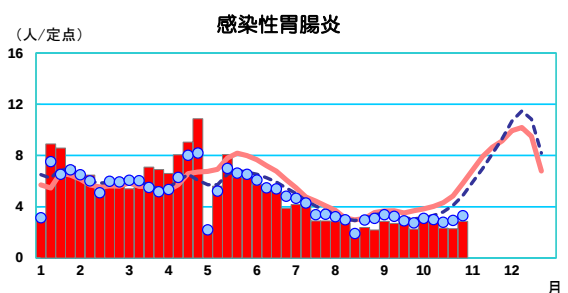
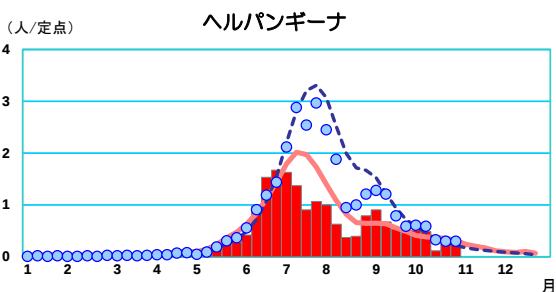
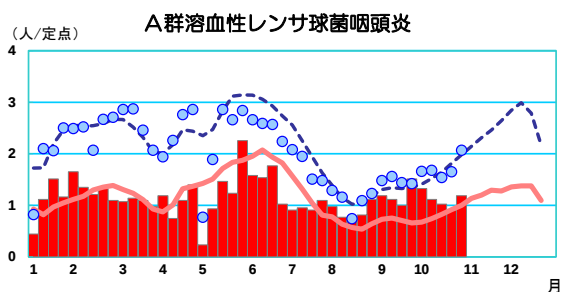
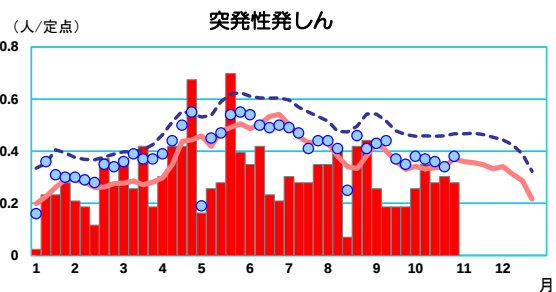
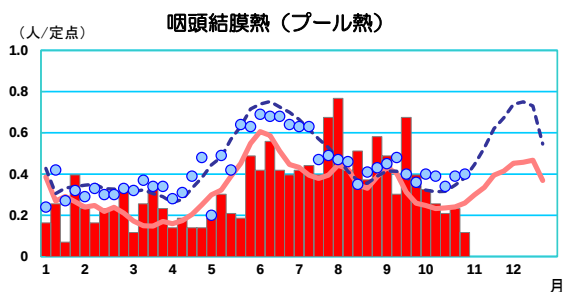
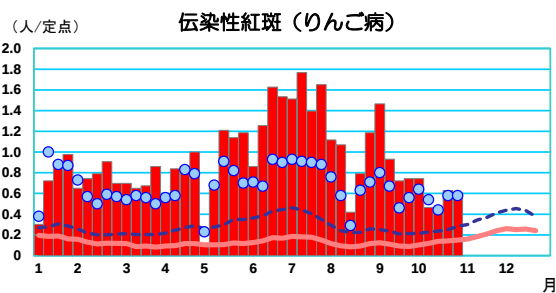
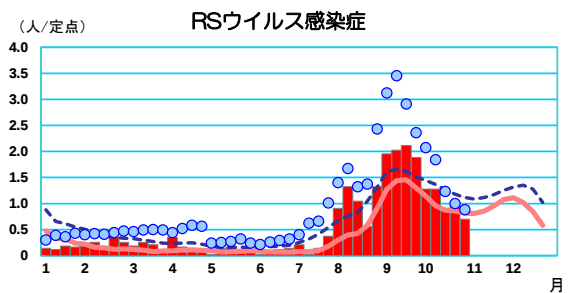
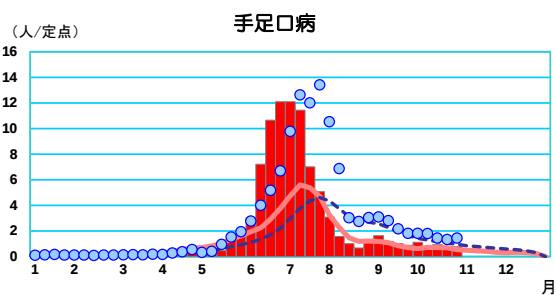
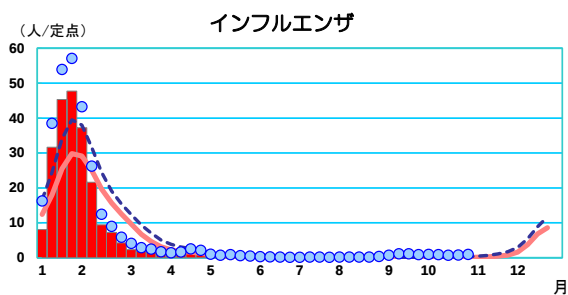
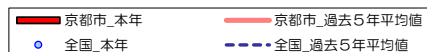
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <感染性胃腸炎>

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、2019年11月6日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。
* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2019年）



第44週(10月28日～11月3日)トピックス: <感染性胃腸炎>

京都市及び全国の発生動向

京都市における感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2.86(123例)となり前週の2.28(98例)からやや増加しました(図1)。全国でも同様に微増しました。京都市及び全国の過去5年平均の推移を見ると、本疾患は例年11月頃から報告数が増加し、12月にピークを迎えています。本年も年末にかけて増加が予想されるため注意が必要です。

都道府県別の定点当たり報告数を見ても、前週から増加しているのは35都道府県となっており、全国的に増加傾向にあります。さらに、このうち今週の全国過去5年平均値4.87を超えているのは福井県、島根県、香川県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県の7県で、九州地方の報告数が多くなっています(図2)。

なお、本市の今シーズンの年齢階級別割合は、過去5年平均(全国・京都市)と同様に、就学前までの子どもが60%以上を占めています(図3)。

予防

本疾患は、細菌・ウイルス・寄生虫などの多様な病原体を原因とする感染症です。このうち冬季の報告数の増加は、ノロウイルスが主な原因と考えられています。ノロウイルスの感染経路は接触及び経口感染(食品、糞口)で、主症状は吐き気、おう吐、下痢、発熱、腹痛です。重症化することは少ないものの、乳幼児や高齢者等では脱水症状を起こしたり、おう吐物が誤って気道に入り肺炎を起こすことがあるので注意が必要です。

ノロウイルスに対してはワクチンや特効薬がないため、治療は対症療法のみとなります。予防方法は、流水と石けんによる手洗い、食品の十分な加熱(中心温度85～90度以上、90秒以上)、おう吐物やおむつの適切な処理です。保育園や幼稚園、高齢者施設などの集団施設では予防を強化してください。

京都市では、ノロウイルス(症状や消毒方法等)及び手洗いについてリーフレットでも詳細に紹介しています。下記のURLを御参照ください。

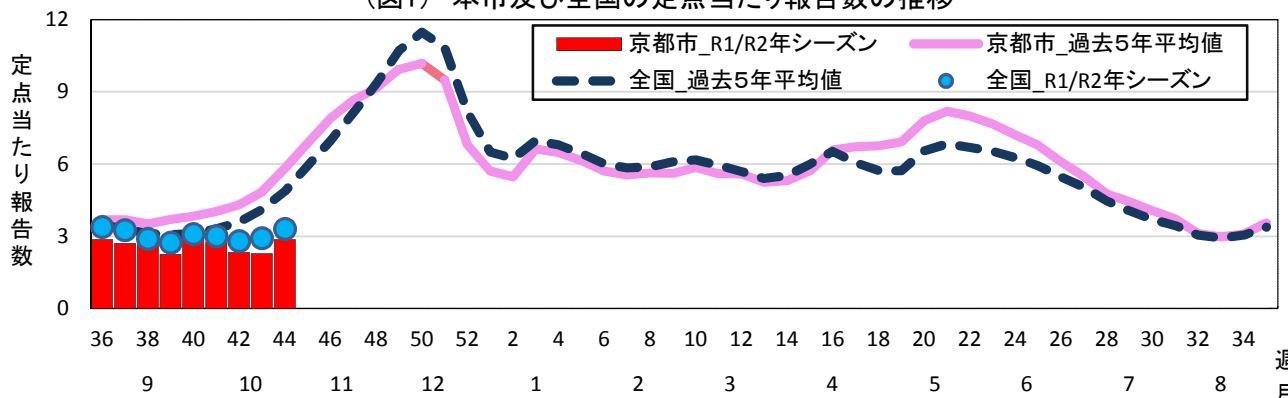
○「京都市こどもの感染症リーフレット 感染性胃腸炎(ノロウイルス)」

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/cmsfiles/contents/0000197/197526/kansenseiityouen.pdf>

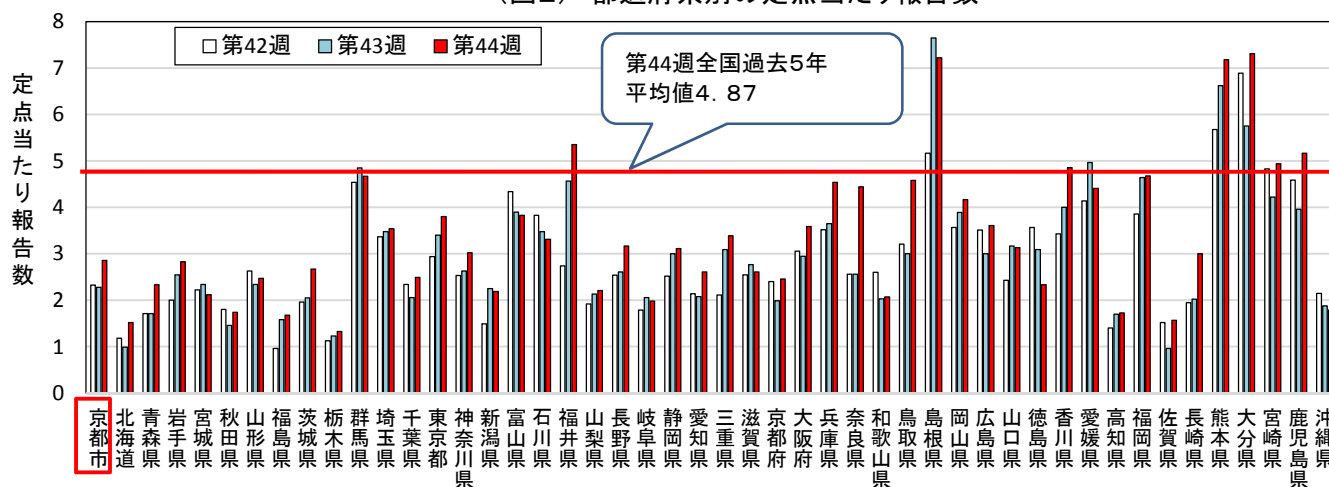
○「京都市こどもの感染症リーフレット 手あらいの方法」

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/cmsfiles/contents/0000197/197526/tearai.pdf>

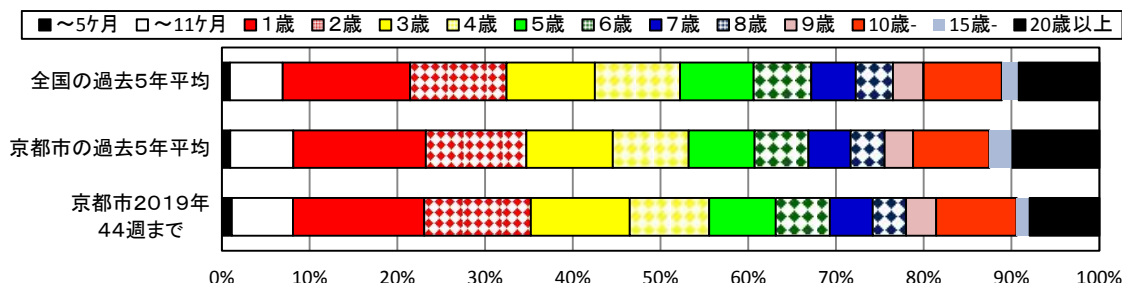
(図1) 本市及び全国の定点当たり報告数の推移



(図2) 都道府県別の定点当たり報告数



(図3) 報告数の年齢階級別割合



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第44週

疾病,行政区別報告数

2019年10月28日～2019年11月3日

データ入手日:2019年11月6日

	インフルエンザ（※1）	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎（※2）	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（※3）	感染性胃腸炎（※4）
男女合計																		
北	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
上京	1	1	-	3	-	-	-	3	-	-	-	-	1					
左京	7	-	1	6	14	3	5	8	3	2	-	-	-					
中京	4	3	1	3	2	-	5	1	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	1	2	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-						
山科	9	7	-	2	2	2	1	-	-	1	-	-	1					
下京	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-							
南	8	2	-	1	7	-	4	4	1	2	-							
右京	3	4	-	20	20	2	5	1	4	2	-	-	3					
伏見	3	9	2	12	59	3	8	7	2	1	-	-	-					
西京	2	1	1	3	14	-	4	1	-	1	1	-	1					
京都市計	39	30	5	51	123	10	33	26	12	10	1	-	6	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ（※1）	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎（※2）	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（※3）	感染性胃腸炎（※4）
男女合計																		
北	0.14	0.25	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
上京	0.20	0.33	-	1.00	-	-	-	1.00	-	-	-	-	1.00					
左京	1.00	-	0.25	1.50	3.50	0.75	1.25	2.00	0.75	0.50	-	-	-					
中京	0.80	1.00	0.33	1.00	0.67	-	1.67	0.33	0.67	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	0.33	1.00	-	-	2.50	-	-	-	-	-	-							
山科	1.29	1.40	-	0.40	0.40	0.40	0.20	-	-	0.20	-	-	1.00					
下京	-	-	-	-	-	-	0.50	0.50	-	-	-							
南	1.60	0.67	-	0.33	2.33	-	1.33	1.33	0.33	0.67	-							
右京	0.38	0.80	-	4.00	4.00	0.40	1.00	0.20	0.80	0.40	-	-	3.00					
伏見	0.27	1.29	0.29	1.71	8.43	0.43	1.14	1.00	0.29	0.14	-	-	-					
西京	0.25	0.20	0.20	0.60	2.80	-	0.80	0.20	-	0.20	0.20	-	1.00					
京都市計	0.57	0.70	0.12	1.19	2.86	0.23	0.77	0.60	0.28	0.23	0.02	-	0.60	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第44週

年齢階級, 疾病別報告数

2019年10月28日～2019年11月3日

データ入手日:2019年11月6日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳～	15歳～	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	60歳～	70歳～	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳～	15歳～	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	60歳～	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳～	15歳～	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳～	5歳～	10歳～	15歳～	20歳～	25歳～	30歳～	35歳～	40歳～	45歳～	50歳～	55歳～	60歳～	65歳～	70歳以上				
インフルエンザ（※1）	年齢1	39	1	1	2	－	－	3	3	1	4	1	4	2	3	3	3	3	4	1	－	－
RSウイルス感染症	年齢3	30	7	5	8	5	3	1	1	－	－	－	－	－	－	－						
咽頭結膜熱		5	－	1	1	2	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		51	－	1	4	3	4	3	6	8	4	1	3	9	－	5						
感染性胃腸炎		123	1	13	10	13	10	17	7	7	8	4	9	12	4	8						
水痘		10	－	－	－	－	1	2	1	2	－	2	－	2	－	－						
手足口病		33	－	2	6	7	5	3	4	4	1	－	－	－	－	1						
伝染性紅斑		26	－	－	2	1	4	3	4	4	4	2	1	1	－	－						
突発性発しん		12	－	3	8	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
ヘルパンギーナ		10	－	－	2	1	4	1	1	1	－	－	－	－	－	－						
流行性耳下腺炎		1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－						
急性出血性結膜炎	年齢2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
流行性角結膜炎		6	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	3	－	1	－	1	
細菌性髄膜炎（※2）	年齢4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
クラミジア肺炎（※3）		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
感染性胃腸炎（※4）		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳～	15歳～	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	60歳～	70歳～	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳～	15歳～	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	60歳～	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳～	15歳～	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳～	5歳～	10歳～	15歳～	20歳～	25歳～	30歳～	35歳～	40歳～	45歳～	50歳～	55歳～	60歳～	65歳～	70歳以上				
インフルエンザ（※1）	年齢1	0.57	0.01	0.01	0.03	－	－	0.04	0.04	0.01	0.06	0.01	0.06	0.03	0.04	0.04	0.04	0.04	0.06	0.01	－	－
RSウイルス感染症	年齢3	0.70	0.16	0.12	0.19	0.12	0.07	0.02	0.02	－	－	－	－	－	－	－						
咽頭結膜熱		0.12	－	0.02	0.02	0.05	－	－	0.02	－	－	－	－	－	－	－						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.19	－	0.02	0.09	0.07	0.09	0.07	0.14	0.19	0.09	0.02	0.07	0.21	－	0.12						
感染性胃腸炎		2.86	0.02	0.30	0.23	0.30	0.23	0.40	0.16	0.16	0.19	0.09	0.21	0.28	0.09	0.19						
水痘		0.23	－	－	－	－	0.02	0.05	0.02	0.05	－	0.05	－	0.05	－	－						
手足口病		0.77	－	0.05	0.14	0.16	0.12	0.07	0.09	0.09	0.02	－	－	－	－	0.02						
伝染性紅斑		0.60	－	－	0.05	0.02	0.09	0.07	0.09	0.09	0.09	0.05	0.02	0.02	－	－						
突発性発しん		0.28	－	0.07	0.19	0.02	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
ヘルパンギーナ		0.23	－	－	0.05	0.02	0.09	0.02	0.02	0.02	－	－	－	－	－	－						
流行性耳下腺炎		0.02	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0.02	－						
急性出血性結膜炎	年齢2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
流行性角結膜炎		0.60	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0.10	0.30	－	0.10	－	0.10	
細菌性髄膜炎（※2）	年齢4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
クラミジア肺炎（※3）		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
感染性胃腸炎（※4）		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2019年第44週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2019年11月6日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	47	32	36	23	28	39
RSウイルス感染症	81	55	55	39	41	30
咽頭結膜熱	17	14	11	9	10	5
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	65	57	48	44	39	51
感染性胃腸炎	97	129	119	100	98	123
水痘	21	30	9	11	20	10
手足口病	38	48	32	40	33	33
伝染性紅斑	32	32	20	20	27	26
突発性発しん	8	11	15	12	13	12
ヘルパンギーナ	20	22	21	5	11	10
流行性耳下腺炎	1	5	2	1	4	1
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	1	5	3	1	-	6
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合 計	428	440	371	305	324	346

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	0.68	0.46	0.52	0.33	0.41	0.57
RSウイルス感染症	1.88	1.28	1.28	0.91	0.95	0.70
咽頭結膜熱	0.40	0.33	0.26	0.21	0.23	0.12
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.51	1.33	1.12	1.02	0.91	1.19
感染性胃腸炎	2.26	3.00	2.77	2.33	2.28	2.86
水痘	0.49	0.70	0.21	0.26	0.47	0.23
手足口病	0.88	1.12	0.74	0.93	0.77	0.77
伝染性紅斑	0.74	0.74	0.47	0.47	0.63	0.60
突発性発しん	0.19	0.26	0.35	0.28	0.30	0.28
ヘルパンギーナ	0.47	0.51	0.49	0.12	0.26	0.23
流行性耳下腺炎	0.02	0.12	0.05	0.02	0.09	0.02
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.10	0.50	0.30	0.10	-	0.60
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合 計	9.62	10.34	8.54	6.97	7.29	8.17

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。